

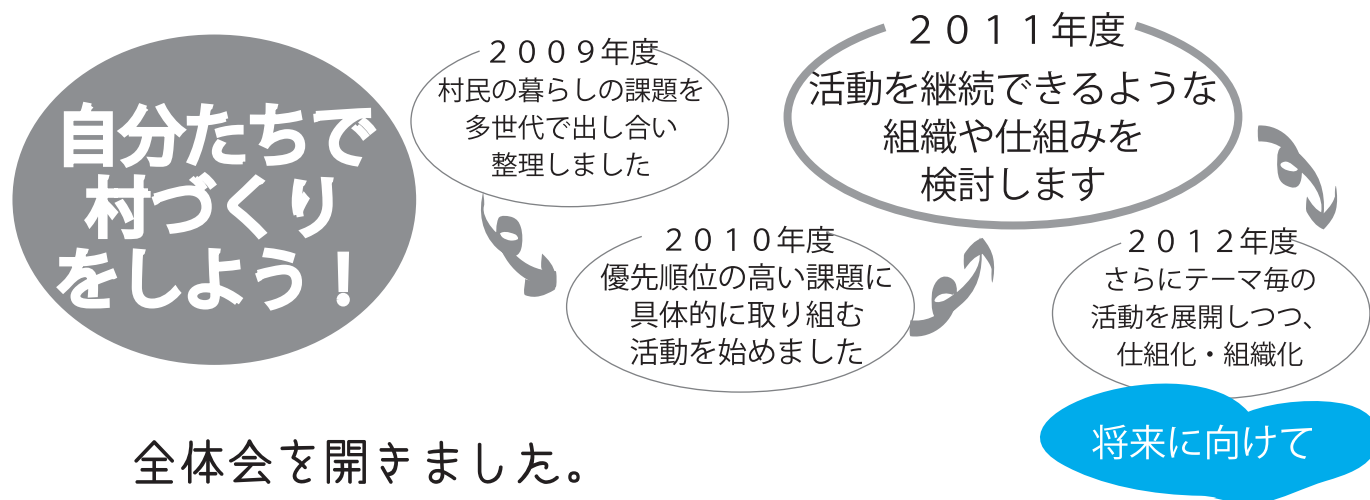
道志村未来通信 8



2011年7月1日発行

2011年度も引き続き活動していきます！

第2期では3つのプロジェクトが立ち上がり、それぞれの活動を進めてきました。今年度は、更に具体的な活動を進め、実践する中で、どこにどんな要望があるか、どんなことが必要かを常に考えつつ、村民が望む暮らしを継続していくための活動の仕組みや組織について考えていく予定です。



全体会を開きました。

去る6月24日、久しぶりに3プロジェクト合同の話しあいを持ちました。各プロジェクトの進捗状況報告(裏面もご覧下さい)をし、それぞれ意見交換をしました。

役場と密にやりとりをしないと先に進めないことも多くなってきたため、世代を超えて安心して暮らせる村づくりプロジェクトを、住民健康課だけでなく、各プロジェクトの活動領域の担当課とやりとりができるように、役場の方の体系も整理してほしいという声が強くなりました。

後半は、各プロジェクトに分かれて、それぞれの作業やミーティングを進めました。



★プロジェクト3からの報告

4/23(日)に開催を予定していた「世代を超えて安心して暮らせる村づくり」プロジェクトの報告会を、東日本大震災の影響で延期しました。

今回、秋に実施予定で進めることをミーティングで決めました。

みんなで語ろう！道志の未来
～ありのままを伝え、集い、つなげよう

プロジェクトの活動報告の他に、道志村内で活動している団体の皆さんにもご参加いただき、道志村の未来を語り合います。

各プロジェクトのメンバーより 活動報告をおこないました

最近はおばあちゃんたちも、「お客さん」ではなく一緒に片づけをしています。
おばあちゃんたちが自分たちの意志でいつでも自由に集まれる場にすることが目標なのでうれしい変化です。

(川原畑、釜の前、谷相、大指地区)



この間はみんなで道志の湯へ行きました。

みんな盛り上がり、帰りにどなたかの家で「2次会」も開催されたようです。おばあちゃんたちの楽しそうな顔をみているだけでも、メンバーとして参加してよかったなと思います。

(馬場、大栗地区)



6/21にはじめてお茶のみを開催しました。みんなちょっと緊張していたようでした。次は歌を歌ったり、それぞれが話したりする場にできたらいいなと思っています。

(善之木、長又、白井平、板橋、川村地区)

プロジェクト1

お茶のみ会、 各地区へひろがっています

6/22にはじめて開催し、たくさんのお年寄りが参加してくれました。地区によって雰囲気もちがうので、村全体のお年寄りが集まって交流できる機会が、年に1回くらいあるといいなと思いました。

(和出村、竹之本地区)

●神地地区、ただいま相談中
お茶のみやりたいね、という声は出ていますが、公民館の改修(トイレが故障中)や畑が忙しい時期がおわってから…かな。

●久保地区 ～独自に活動進行中！

みなもと体験館でうどんをつくったりしているそうです。「しわが出るほど笑った！！？」という人もいます。

プロジェクト2

2つの活動が進行中です

●買い物ツアー

買い物ツアーは、主に一人暮らしのお年寄りや車のない高齢者世帯を対象に行っており、毎回15人ほどのお年寄りが参加。活動メンバーは、バスが入れない場所に住んでいる方の送迎をしたり、帰りにより道をするなどのアイデアを出し合いながら、回を重ねる毎に充実したツアーになってきています。おじいちゃんもおばあちゃんも前の日は楽しみで眠れないそうです。前日はお出かけのために美容院も混むとか！？次のステップとして、継続していくための仕組みを考えて行きたいと思います。

●移動手段

4/1 から、村内を走るバスが増便されました(吉田行2便・都留行1便)。PJ2では、まず今走っているバスをより有効に村民が使えるように、バスを使いこなしている人も一緒に加わってわかりやすい時刻表を作成中。この活動が、次回のバスダイヤ改訂のときに生きてくるようにと思っています。



発行責任者：池谷力三

この事業は平成28年度予算の「高齢者福祉事業調査費」により村民・役場・委託事業者の協働作業で行われております。

〈お問い合わせ〉

道志村役場住民健康課 52-2113まで

□□□□□

編集後記：村民が本当に望むことを皆で考えていくために、夜遅くまでの話し合いに参加されています。皆さん、本当に生き生きとした表情をされています。(MO, MM, SN)

追記：各プロジェクトのメンバーが、7/8開催のセミナー「長寿社会の村づくり」の前に、講師と懇談します。